

今月の特集

「長く付き合っていける土地」の
見つけ方

家や家族と同様に、
土地は長い時間をかけて付き合っていく存在です。
無理なく、心地よい暮らしを実現するために、
土地探しにおいて「不満の総和がもっとも小さい土地」を
見出すことが重要になります。

長く付き合っていける土地を
見つけるには

土地は、家や家族と同じく、長く付き合っていく存在ですが、家づくりに比べると不可逆的な要素が大きいものです。たとえば、家づくりは、家が建ったあとでもDIYやリフォームなど予算やアイデア次第によって、家族の現状に合わせて環境をつくりかえることができます。しかし、土地は、周辺に住む住民や土地柄、地形や気候、さらには土地開発など、多くの外的要因がつながって成り立つものであり、自らでつくりかえることはできません。

一度決めてしまったら、やり直しのききにくい土地探しにおいて、「長く付き合っていける土地」を見出すためのポイントがあります。それは、「不満の総和がもっとも小さい土地」に絞ることです。多くの場合、人々は土地探しの段階において、土地の「良い点」を見出そうとする傾向にあり、「悪い点」は見落とししたり、分かっている目をつむることがあります。しかし、長く住まうことを前提と考えれば、不満の種をはじめに解消することが望ましいです。そのため、まずは土地に対して譲れない条件とそうでない条件を決めて、現地視察を通じて不満となる点を洗い出します。次に、特定された不満を解消し得る対処法について検討しましよ

う。もちろん、これらの対処法が自分のライフスタイルに大きな負担となるのであれば、土地探しの選択肢から外してしまっても構わないでしょう。このような視点を通じて、不満が限りなくゼロに近い土地であれば、長く住まうのに問題はないはずです。

時間と手間を惜しまず、
さまざまな角度から土地を見つめる

土地の良い点も悪い点も、手間を惜しまず現地に繰り返し足を運ぶことで見つかるものです。土地付近の交通量や騒音、町の雰囲気などは昼・夜や平日・休日大きく変わることもあります。また、家族のライフスタイルが変化した場合にも

柔軟に対応できるよう、時間帯や天候・季節などを想像し、あらゆる角度から土地を見つめることで、不満の種を探しましょう。土地柄や地形・気候の特徴は、地域の情報が蓄積されている場所で聞くのが近道です。「FPの家」は優れた住宅性能と土地に根ざした工務店のノウハウを両立しており、地域の特性に合った質の高い家づくりが特徴。家づくりはもちろん、土地探しについてもご相談が可能です。すべてが条件に沿う土地を見つけられるのが理想ですが、家族の暮らしやライフスタイルと照らし合わせて、不満やわだかまりの残らない土地を探すことも、心地よい暮らしを実現するための近道かもしれません。

